

## 【意見】

年々暑さが厳しくなる中で、熱中症による死亡者が増えており、先日は小学生が命を落とされ、猛暑は深刻な問題となっています。

沼田市の小中学校は、職員室にはエアコンが設置されているものの、子供達が一番暑い日中を過ごす部屋や体育館はエアコンが設置されていない学校がほとんどかと思えます。

授業中には、喉が乾いてももう少しだから我慢してと我慢を強いられることもあったり、暑さで辛くてもなかなかそれを伝えられない状況もあると思います。外から教室の中に入っても暑い熱のこもった教室で身体も熱がこもった状態では、いつ熱中症になってしまうかわかりません。

まだまだ自分で自分を守りきれない子供達のために、是非エアコンの設置をお願いします。

沼田市では予算がないということであれば、市民から少しづつでも寄付を募って頂くなど、何かしら方法はあると思いますので、出来る限り早く設置出来るようご検討のほど、よろしくお願い申し上げます。

女性30代：市内在住

## 【回答】

子どもたちが学ぶ教室環境が、気温や湿度等の観点から適正な状況であることは、子どもたちの安心した学びを保障する要因の1つであると考えております。

教育委員会では、夏季における教室内の気温、湿度、子どもたちの体感についての調査を6月25日から実施しております。

この調査結果を基に、今後、教室へのエアコン設置について検討を進めてまいりたいと考えております。

また、特に夏季については、子どもたちの熱中症が心配されるところであり、教室内の温度等の調査、環境への対応と合わせて、水分補給をこまめに行うなど、子どもたちが自ら自己の健康を維持管理できるよう指導を進めていくことも必要であるとと考えております。

担当：教育部庶務課庶務係